

新幹線プレス

2014年1月1日 新年号

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

謹賀新年

新年明けましておめでとございます。

昨年は、組合員・OBそして家族の皆さんに、多くの闘いに取り組んでいただいたことに改めて感謝いたします。とりわけ、「報復処分撤回裁判」「強制出向延長取消裁判」には、OB会員の皆さんも多く参加していただきました。会社の横暴・理不尽を許さない仲間の闘いを全体の闘いに、という労働者本来の闘いざまを現役・退職者が一致して示しました。しかし、私たちを取り巻く状況は依然として予断を許さない状況です。昨年の暮れには、権力の不正を暴いたら処罰されるという現代版「治安維持法」といえる「特定秘密保護法」が可決成立してしまいました。そして、右翼・安倍政権は、戦争体制国家にするための法整備を矢継ぎ早に仕掛けようとしています。

一方、JR東海は「ペイしないリニア」建設のために躍起となっています。このしわ寄せは、私たち現場労働者と関連会社に働く労働者へ転嫁されることは目に見えています。実際に昨年3月のダイヤ改正では「交番検査・仕業検査体制の見直し」が強行され、今年ダイヤ改正では「構内操縦担当者の要員体制見直し」が押し通されようとしています。関連企業の労働者には、ますます労働強化・賃金の抑制を強いられることが予想されます。今年、リニア建設のための労務管理の強化、労働条件改悪に断固として反対する闘い、労働法制改悪反対、反原発・反核の闘いなど私たちの取り組むべき課題が山積しています。そして、労働者内部から涸谷へと誘おうとする輩との断固とした闘いも求められます。これらの闘いを職場から仲間と共に闘い抜くことで我が組織の強化・拡大を勝ち取ろうではありませんか。

新幹線地本執行部は、その先頭で闘うことをお誓いし、新年のあいさつとさせていただきます。共に奮闘しましょう！

執行委員長 成田隆浩

執行副委員長 森谷孝一

同 小林正明

書記 長 杉澤秀則

執行委員 小林昇

同 土川節夫

同 平山裕一

同 木藤純宏

同 勅持善昭

同 田村浩彰

同 伊藤一也

同 山口了

特別執行委員 有恵和好

同 尾崎次夫

同 佐藤賢

同 池田昭男

同 布施喜一

同 吉井明

同 上田幸二

会計監査員 小林健司

同 藤村昌弘

新年を迎えての決意

東京第一運輸所分会 滝波 武

新年明けましておめでとうございます。

2014年の幕開けです。今年も明るく働きがいのある職場環境を目指し、職場からの闘いを展開し、組織の更なる強化・拡大に向け、分会一丸となつて邁進して行きます。

共に奮闘しましょう！

2014年の決意

東京第二運輸所分会 庭山 義輝

明けましておめでとうございます。

報復処分撤回裁判は一審勝利を覆す高裁の反動判決を許さないため、最高裁への上告受理申し立てを行い、この間の裁判闘争で培った組織力で、諦めることなく最後まで闘い抜く決意です。

安倍政権の数を誇示した圧政は、特定秘密保護法の強行成立を図つたように、自由で平和な暮らしを脅かす危機的状況がきな臭さを通り越して現実味を帯びてきました。安心して暮らせる社会を守るために更に闘いましょう！

2014年の抱負

東京車両所分会 松井輝道

新年明けましておめでとうございます。

東日本大震災から2年9ヶ月、未だ復興の目途はたつていません。そして、国の政策や対策は、被害者の為のものとはなっていない。

安倍政権は、憲法改正、武器輸出3原則の改正など戦争の出来る国づくりへと突き進んでいます。

職場では「規律と忠誠心」という労務管理により、2名の仲間が期末手当をカットされました。

私たちは、反戦・反原発、反リニアの闘いを進めていきます。明るく楽しい職場をつくるために共に頑張りましょう。

反原発・反リニアに向け闘おう

三島車両所分会 高田光久

明けましておめでとうございます。

東日本大震災から三年が経とうとうとしています、未だに問題は解決していません！私たち三島車両所分会は、他の車両所と連係し問題点を共有化し、反原発・反リニアを展開して行きます。

共に職場から闘いましょう！

山本さんをJR本体に帰すために全力を上げて闘います

東京地区分会 佐藤 雅巳

明けましておめでとうございます。山本修さんの強制出向取消裁判は、春には結審を迎えようとしています。

東京地区分会は、この裁判を通じて二つの事を目指しています。第一には山本さんを「JR本体に帰す」こと。

第二には「労働協約に延長規定がない」ことを法的に確認して、出向命令の乱用に歯止めをかけることです。

また、安倍政権の原発再稼働・戦争政策推進に職場と地域から闘います。

新しい年を迎えるにあたって

新幹線地本OB会 伊藤 勝

明けましておめでとうございます。

日本は経済大国となつて以降、「金」まみれとなり人として生きるための価値観を狂わせてしまいました。

原発被災地や米軍基地の辺野古への移転問題の現地においてさえも、その悪の根源である自民党が勝利しました、野党の裏切りという現状もあるとはいえ、「戦争反対」ではすでに遅く、「戦争準備政策」段階で徹底的に闘わなければ未来はありません。共に頑張りましょう！